

南武地域同胞情報誌
2015年 7月 1日発行
(毎月1日発行)
累計第106号

南武 동포 동네

NAMBU TONGPO TONGNE

南武同胞生活相談総合センター
〒211-0063 中原区小杉町1-526
TEL: 044-722-0724
FAX: 044-733-0188
Eメール: nambuchibu@gmail.com

南武朝鮮初級学校 運動会 開催!

2015年6月7日(日) 南武朝鮮初級学校 運動場

南武学校の運動会が同校運動場にて盛大に行われました。

晴天に恵まれ、多くの同胞、学父母たちが集まり学生たちに声援を送っていました。

運動会の為に準備してきた学生たちと教職員、学父母と同胞たちの心が一つになったとても素晴らしい運動会となりました。

この日一番の盛り上がりを見せた全校生参加の対抗リレー! 応援席からの声援を受けて青組、紅組の選手たちが全力疾走で応えました。途中転倒するアクシデントもありましたが、皆が最後まで一生懸命走り切りました。



組み体操のピラミッドもバッチリ!



運動会前に<子育て支援金>伝達

運動会が行われる前に、毎年総聯中央が実施している<子育て支援金>が、総聯神奈川県本部 副委員長より保護者の方たちへ手渡されました☆



6.15共同宣言発表から15周年「北、南、海外で実践運動展開」

民族共同の統一里程碑

【6月15日 朝鮮新報記事】

統一時代を切り開いた歴史的な北南首脳会談と6.15共同宣言の発表から15年。6.15で示された「わが民族同士」という理念の実践は、北南関係に大きな変化をもたらし、朝鮮民族に統一への確信を抱かせた。しかし、南における保守政権の発足によって北南関係は再び対立へと逆戻りし、現在も対話の扉は閉ざされたままだ。6.15共同宣言の意義とその時代を振り返る。

【史上初の首脳会談】

2000年6月13日、金正日総書記が、平壤空港に降り立った南の金大中大統領一行を出迎え、両者は両手で固く握手を交わした。北と南の首脳による歴史的な対面のようなは、衝撃をもって全世界に駆け抜けた。統一に向けた新時代の幕開けだった。

13日から14日にかけて行われた北南首脳会談と最高位級会談の末に発表された6.15共同宣言は、半世紀にわたる民族分断と対決の歴史に終止符を打ち、北と南が力を合わせて自主的に統一問題を解決することを明示した、まさに民族共同の統一里程碑であった。



6.15共同宣言は、「わが民族同士」の理念を基本精神とし、民族自主、祖国統一、民族和解、相互協力と交流、対話の5つの項目に集約される。具体的には、①統一問題を、その主人であるわが民族同士が、互いに力を合わせて自主的

に解決すること、②北側の低い段階の連邦制案と、南側の連合制案が、互いに共通性があると認め、この方向で統一を志向すること、③今年（2000年）の8.15に際して、離散家族、親戚の訪問団を交換し、非転向長期囚問題を解決するなど、人道的問題を早急に解決すること、④経済協力を通じて、民族経済を均衡的に発展させ、社会、文化、スポーツ、保健、環境など諸般の分野の協力と交流を活性化し、互いの信頼を築いていくこと、⑤以上のような合意事項を早急に実践に移すために、早い日時に当局間の対話を開催すること一が合意された。

【対話と交流協力】



共同宣言の発表によって、6.15以前には想像もできなかった画期的な出来事が現実のものとなった。

北南間では、閣僚級会談や軍事会談、赤十字会談、経済協力推進委員会会議など、ありとあらゆる対話が進展し、多岐にわたって協力と交流が

活発化した。

軍事レベルでは、西海上で偶発的な衝突を防止するため、双方の警備艇間で無線連絡を取り合い、軍事境界線付近で互いを誹謗中傷する宣伝放送を中止するなど画期的措置が講じられた。

当局間のみならず民間レベルでも人々が北と南を往来しながら、さまざまな交流と協力事業を行った。開城にある王宮遺跡である満月台の共同発掘調査、キョレマル大辞典の共同編纂などが始まった。北と南に離散した数千人の家族が平壤、ソウル、金剛山で再会を果たした。

また、東海線・西海線の鉄道および道路の連結事業、金剛山観光、開城工

業地区開発に象徴される経済協力事業も本格化した。

6.15共同宣言は、朝鮮民族の分断史を統一史へと転換させた歴史の分岐点であったが、6.15がもたらした民族和解の恩恵は、北と南のみにとどまらなかった。

6.15以降、在日朝鮮人社会にも大きな変化がもたらされた。

民族分断の政治的障壁に阻まれていた総聯活動家と同胞らの故郷訪問が実現した。金剛山歌劇団や在日朝鮮学生少年芸術団も南の各地で公演を行い、ソウルや平壤で開催される民族共同行事にも在日同胞が海外の代表として参加した。

【南当局の対決姿勢】

しかし、2008年2月に発足した李明博政権は、6.15共同宣言と、その実践綱領である10.4宣言を否定し、以後、当局間対話は中断状態に陥った。また、「天安」号沈没事件（2010年3月）を口実に北南の交流・協力を全面遮断する「5.24措置」を発表し、開城工業地区以外の北南交流、協力事業は全面遮断された。延坪島砲撃戦（2010年11月）に象徴されるように北南間の軍事的緊張は激化し、北南関係は対立の時代へと逆戻りした。

2013年2月に発足した朴槿恵政権も前政権の政策を踏襲しており、北に対する誹謗中傷を繰り返し、

米国との合同軍事演習を強行するなど、対北対決姿勢を変えていない。

北側は一貫して6.15共同宣言を履行する立場を取ってきた。2015年元旦に発表された金正恩第1書記の新年の辞では、北南関係への言及が前年より増え、首脳会談の開催問題にまで触れながら、北南関係改善への強い意欲を示した。

祖国解放70年、分断70年を迎える今年、北と南、海外の統一運動勢力は、8.15に民族共同行事を開催することを見据え、それに先立つ6.15に民族共同行事開催をめざして協議を進めてきた。しかし南当局の妨害により分散開催となった。

これと関連して6.15共同宣言実践北側委員会は6月5日、6.15民族共同行事を破綻させた責任は、開催地の変更や行事の

「政治色排除」などの主張を展開した南当局にあると非難したうえで、北南関係の発展は、わが民族同士の精神に基づいた6.15共同宣言を履行することにあると強調。6.15民族共同行事は実現しなかったが、国内外の全同胞は共同宣言の旗印を掲げ、意義深い今年に自主統一の大路を開いていくため力強く前進していくであろうと呼びかけた



総聯結成60周年記念 神奈川同胞祝賀会

2015年6月19日(金) 総聯本部6階講堂

総聯結成60周年を記念して神奈川同胞祝賀会が行われ、神奈川運動で功績ある本部、支部の顧問たちが参加しました。

第一部では呉圭祥先生を講師に招き、総連の結成から今日までの神奈川在日同胞運動の歴史を振り返りました。また、日本の来賓の方々も参加されお祝いの挨拶を頂きました。

第二部の祝賀会では、参加された顧問たちを紹介しながら挨拶を頂きました。祝賀会では民謡や歌も披露され、チュンパンもひろがり大いに盛り上がりました。



本部、支部の顧問たちが参加され、



W杯出場へ向け好発進

2018年ロシア大会・FIFA（国際サッカー連盟）W杯アジア二次予選で2連勝し、グループ首位の好発進を切った朝鮮代表。ホーム・平壤で行われた対ウズベキスタン戦での大金星に、平壤市民は大いに沸いた。試合から数日が経ってもその熱は冷めやらず、人々はサッカー談義を楽しんでいた。

対ウズベキスタン戦が行われた16日。試合会場となった金日成スタジアムには、開始を待ちきれない市民たちが午前から続々と集い、両チーム選手らを紹介した体育新聞の号外を広げながら試合結果の予想に興じていた。13時過ぎには客席は埋まり、会場の外まで人波で溢れるほど、人々の関心の高さは顕著だった。この日、朝鮮代表は前半に大量得点し、4-2で快勝した。市民の間では男子サッカーの話題で持ちきりとなった。試合当日は21時からテレビでノーカットで放映し、その後も再放映。スタジアムで観戦した人も繰り返し観ては、勝利の余韻を楽しんだ。ある女性は男子サッカーの勝利について、「女子の活躍に比べて、男子は近頃パツとしなかったけど、今回の試合で復活を実感した。勝利を祝して夫にビールでもごちそうしよ

うかしら」と、冗談交じりに話していた。同胞選手の活躍にもまた、多くの注目が注がれた。とりわけ攻守の要としてほぼフル出場した22番・MF李栄直選手（24、J2・V・ファーレン長崎）。豊富な運動量でピッチを縦横無尽に走り回り、長短のパスをつないでチームに貢献した。後半45分のロスタイムに交代でピッチを去る瞬間、スタジアムにひととき大きく響いた拍手喝采はまさに、李選手への賛辞の表れだった。



同胞代表の李栄直選手(右)

南武・川崎合同チャリティーゴルフコンペ

2015

9月9日(水)

【お問合せ先】

南武教育会 電話:044-866-6411

会場:ロイヤルスターゴルフクラブ

今年のチャリティーゴルフコンペは
南武・川崎合同で
行うことになりました。
ウリハッキョのため、ご協力を
よろしくお願い致します。

*写真は昨年(2014年)のナンプカップです。



千葉県君津市平山32-1



今回は...

2コマ漫画

南武美ちゃん
no.58南武美ちゃん、夏休みに
向けて充電中...総聯中央委員会
第23期第2回会議

総聯中央委員会第23期第2回会議が6月27日、東京・千代田区の朝鮮会館で行われた。

会議は、金正恩第1書記が総聯結成60周年に際して総聯と在日同胞に寄せた書簡「偉大な金正日同志の志を継いで在日朝鮮人運動の新たな全盛期を開いていこう」に示された課題を貫徹するための方針と対策を討議することを目的として開かれた。報告を行った許宗萬議長は、第1書記の書簡貫徹を重大な使命として、基本方針として討議、決定する本会議は全体大会にも劣らない会議だと強調した。

7月予定

行事(予定)

1日(水)	総聯南武支部常任委員会(19:00)
4日(日)	川崎フロンターレファン感謝祭
7日(火)	女盟中央委員会
8日(水)	南武教育会理事会(19:30)
9日(木)	神奈川県本部執行委員会(15:00)
10日(金)	高麗会ミニデイ(11:00) 南武青商会幹事会(19:30)
11日(土)	南武学校体験授業&七夕遊び
12日(日)	南武青商会&朝青南武支部交流会
13日(月)	女盟本部拡大会議&女盟支部常任委員会
14日(火)	朝青南武支部常任委員会
15日(水)	朝青中央委員会
22日(水)	高麗会ミニデイ(11:00)
24日(金)	南武支部執行委員会(19:00)
27日(月)	高麗会歌謡クラブ(13:30)